

臨床研究センターセミナーが開催されました

(H26年9月10日)



米国の癌診療のランキングで毎年1, 2位を争うあのMD Anderson Cancer CenterのDepartment of LeukemiaでAssistant Professorとして勤務されている青木恵津子先生をお迎えして「MD Anderson Cancer Center Department of Leukemiaの紹介およびアメリカの医療システムについて」のお話を聞かせていただきました。

青木先生は当院で2002年から2009年まで勤務され、その間にもBrown大学、MD Anderson Cancer Centerに留学されており、2009年以降は同院で教官として研究、臨床、教育に精力的に取り組まれています。

病院全体のスタッフは総勢19,655人、スタッフ医師1,671人、初期・後期研修医1,231人、ボランティア1,200人、看護師3,000人という、ものすごい巨大なセンターなんですね。

Department of Leukemiaには総勢334名のスタッフが勤務しており、外来新患1800人/年、前入院36,792人/年、平均入院患者100人/日というものすごいボリュームの部門だそうです。入院診療は5チームが担当し、さまざまなシステムが効率よく動いていてスムーズな診療が展開されているようでした。

もちろん研究が活発にされており、臨床教員12名、研究教員12名、研究員19名によって、去年は229本の論文が発表されたそうです。すごい！



院内外から熱心な聴講者が参加しました。

市内の大学病院からも参加いただきました。



このロゴ、Cancerの所に赤線が引いてありますよね。

これは癌を撲滅するという意味が込められているそうです。

病院に電話をかけて保留になると、このミッションが流れてくるそうです。

“患者ケア、研究、予防の傑出したプログラムと、一般市民、すべての医療関係者への教育を通じて、癌を撲滅するのがMDアンダーソンの使命です”

Mission

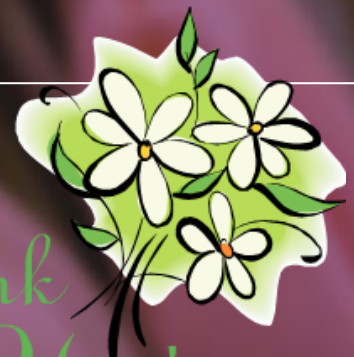
- The mission of The University of Texas MD Anderson Cancer Center is to eliminate cancer in Texas, the nation, and the world through outstanding programs that integrate patient care, research and prevention, and through education for undergraduate and graduate students, trainees, professionals, employees and the public.

うーん、なんてカッコイイ保留音。うちの病院も取り入れてみたい！



MD Anderson Cancer Centerを見学してみたいという後期研修医が、早速青木先生と相談していました。

とても刺激的な講演会でしたよ。



青木先生、どうもありがとうございました。
次の帰国の際にもよろしくお願ひします。

Thank You!